

## 【第11回高知県子ども・子育て支援会議（11/27）についてのご意見】への回答

## 1 本日の議事について

<ご意見> 【刈谷委員（高知県保育士会 会長）】

病児保育事業に高いニーズがあるからこそ、保護者が我が子を看護できるようなワークライフバランスを望みます。

（回答）

県では、子育てしやすい環境づくりを進めるうえでワーク・ライフ・バランスの推進は重要であると考えており、これまでも、ワークライフバランス推進企業認証制度の加入促進など、取り組みを進めてまいりました。

来年度は働き方改革の推進として「高知県働き方改革推進会議」を要としたワーク・ライフ・バランス推進事業（セミナーなどによる働き方改革の普及啓発や社会保険労務士など専門家による伴走支援など）や、女性の活躍の支援に立った取り組みの推進（働きやすい職場づくりに向けた企業支援など）を行うなど、引き続き企業のワーク・ライフ・バランスの取り組みを促進してまいります。

<ご意見> 【福留委員（高知県児童養護施設協議会 副会長）】

H29・8月に出された「新しい社会的養育ビジョン」は大きく社会的養護に影響を与える内容であると考えられます。「児童福祉全体」が「家庭福祉」へと変わろうとしており、児童にとって良いことではあります。高知県の社会的養育状況においては、ビジョンの内容通りには進めることが出来ないと思われ。無理に押し進めると児童に弊害が生じる恐れがあるため、方向はビジョンの骨子に沿って、高知県独自で思考、思案していく必要があると思います。

（回答）

新しい社会的養育ビジョンの方向性については賛同していますが、一部スピード感については、地域の実情に応じた対応の仕方があると考えています。

現在、都道府県推進計画の見直し要領の作成に向けて検討が進められているところであり、県としても引き続き全国知事会を通じて意見を述べていきたいと考えています。

## 2 次回検討事項について

<ご意見> 【刈谷委員（高知県保育士会 会長）】

高知県には、全国に先駆けて、全ての子どもを守ることが出来るような支援を行っていただきたいと思  
います。そのため、国への要望・陳情等も是非お願いできればと思います。

（回答）

ご意見として、関係各課で共有いたしました。

なお、国への要望・陳情等につきましては、これまでも、県独自に、また、全国知事会や四国知事会等とも  
連携しながら、ファミリー・サポート・センター事業の拡充や、少子化対策、子どもの貧困対策の抜本強化な  
どについて政策提言を行ってまいりました。

その結果、例えば、ファミリーサポートセンター事業の子どもの預かり場所について見直しがなされること  
となり、また、国の30年度予算案では、子どもの貧困対策のための交付金の当初予算化や、社会的養育を推  
進するための財政支援の拡充など、厳しい環境にある子どもたちへの支援策の拡充などが図られました。

引き続き、より効果的な施策の展開に向けて、国に対して積極的に政策提言を行ってまいります。